

# 議会だより

2023年11月 北海道中川郡豊頃町議会発行  
議会広報特別委員会編集



## 9月定例会

第3回定例会は、9月7日から開会され、町長から提案のあった補正予算など8議案等を、いずれも原案どおり可決し、12日に令和4年度各会計決算認定、14日に一般質問等を行いました。

### 補正 予算

#### 補正予算の主なもの

一般会計補正予算(第3号)

#### 110周年記念塔改修工事

130万円

役場前に設置している記念塔の時計部分の改修工事

#### 持続的畑作生産体系確立 緊急支援事業補助金

6746万円

作物の転換、労働負担軽減や馬鈴薯種子の安定供給等の事業について支援を行うもの

#### 道路橋梁維持補修費

1970万円

牛首別2号線舗装補修工事、旅長節線舗装補修工事、大川13号線側溝補修工事のほか、道路橋梁の維持補修を行うもの

#### 河川維持補修費

350万円

二分線沢川補修工事のほか、河川の維持補修を行うもの

#### 災害対策用ドローン購入

95万円

地震や津波、台風等の災害発生時に使用するドローン1台を購入するもの

#### 大津小学校給水ポンプ ユニット取替工事

138万円

トイレに給水しているポンプユニットが破損したことによる取替工事の施工

#### 学校給食費補助金

420万円

物価高騰対策のため、小中学校の児童生徒の給食費を半年間補助するための費用(小学校費255万円、中学校費165万円)

#### 町営スケートリンク費

510万円

町営スケートリンクを造成管理するための経費

#### 農道・林道・町道災害補修

570万円

9月4日から5日にかけての低気圧による大雨のため発生した、農道、林道、町道の路面流失、路肩崩壊等の復旧補修費用

#### 豊頃医院運営交付金

1314万円

指定管理者が運営する豊頃医院及び大津診療所の令和4年度分事業収益の赤字に対する交付金

医療施設特別会計補正予算  
(第1号)

会計名	補正額	予算総額
一般会計(第3号)	1億3,500万円	61億9,858万円
一般会計(第4号)	570万円	62億428万円
医療施設特別会計(第1号)	1,378万円	8,866万円
簡易水道特別会計(第1号)	362万円	3億1,401万円

※表示の金額は、1万円未満を四捨五入したもの。





令和4年度

# 各会計の決算を認定

令和4年度一般会計ほか6特別会計の歳入歳出決算は、町監査委員の決算審査意見書とともに議会に提出され、本会議において審議を行った結果、各会計とも認定することに決定しました。各会計の決算額は、下記のとおりです。

## 各会計の歳入歳出決算額

【単位：円】

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額	繰越額	実質収支額
一般会計	73億7,730万5,674	72億7,391万2,262	1億339万3,412	213万8,000	1億125万5,412
国民健康保険特別会計	5億2,366万4,805	5億1,752万5,304	613万9,501	0	613万9,501
介護保険特別会計	3億9,221万7,312	3億6,499万3,903	2,722万3,409	0	2,722万3,409
後期高齢者医療特別会計	6,651万8,379	6,607万7,243	44万1,136	0	44万1,136
医療施設特別会計	6,451万7,874	6,450万3,707	1万4,167	0	1万4,167
簡易水道特別会計	3億5,976万105	3億5,505万1,471	470万8,634	0	470万8,634
公共下水道特別会計	2億1,705万5,221	2億1,444万9,227	260万5,994	4万8,000	255万7,994

### 〔審議した議案〕

#### ▼ 物品の取得

○消防団車両 1台  
消防団車両の更新と機能強化のため取得するもの。  
契約金額は2,700万2,220円。  
納入期限は令和6年3月20日。

▼北海道市町村職員退職手当組  
合規約の変更  
北海道市町村職員退職手当組合の組織構成に、「後志広域連合」を加えるもの。

### 〔一人事案件〕

▼人権擁護委員候補者の推薦  
人権擁護委員の候補者として、羽賀智子氏（礼文内）と高井伸夫氏（茂岩末広町）を推薦しようとするもの。それぞれ適任であるとして答申しました。

▼豊頃町教育委員会委員の任命  
9月30日に任期満了となる宝田博幸氏（十弗）の後任として、津久井直弘氏（礼作別）を任命したいとの提案があり、これに同意しました。

なお任期は令和9年9月30日までの4年間です。

### 主な審議内容

#### 物品の取得

○小笠原議員 購入予定の消防車はどの分団に配備するのか。  
A 豊頃第2分団に配備する。

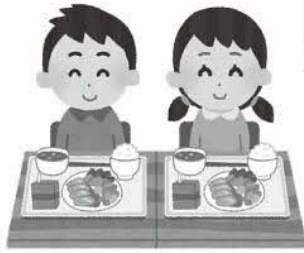
#### 令和5年度補正予算

○坂回議員 今年の暑さによりとよころ物産直売所の商品に影響があったと聞いたが、エアコンの設置についての考えは。  
A 今後直売会構成員と役員との意見交換を実施し検討したい。

○穴谷議員 新型コロナの影響が続いたことにより困窮した町民や事業者への対応は。  
A 昨今の情勢や物価高騰を踏まえ、町民の生活や各産業における状況を確認しながら今後冬に向けた対策を検討したい。

○小笠原議員 今回の補正予算で導入するドローンの用途は。  
A 災害による行方不明者の捜索や災害被害状況調査等に使用する。





**Q 藤田議員** ドローンを災害対策以外にも活用する考えは。

**A** 災害時に活用できるよう、普段から災害予防活動やイベント等に使用していきたい。またその他の活用についても、他町村を参考にしながら検討していく。

**Q 小笠原議員** 給食費の補助について、町が負担している部分も含めた町民への広報の考えは。

**A** 給食費補助の内容のほか、現状食材の値上がり等により町が負担している現在の状況なども踏まえ、町民への周知広報を行っていききたい。

**Q 坂回議員** 保育所の給食費(副食費)を補助する考えは。

**A** 現在子育て支援の施策を厚く行っている状況であると認識している。保育所を利用している保護者の方々の意見交換を踏まえ、副食費の補助については検討したい。

**Q 小笠原議員** 長節湖キャンプ場で活用している移動式ドームハウス運搬費について、どこに運搬し活用する予定か。

**A** とよころ物産直売所横の芝生広場や、景観の良い茂岩山キャンプ場へ運搬し活用するような構想をしており、冬期間での活用を含め検討している。

**Q 穴崎議員** 大雨による、道路の路面・路肩のほか、山間の路面・斜面における危険性の把握は。

**A** 昨年度ハザードマップを作成し配布しており、土砂災害における町内各地の危険度等については全て掲載している。今後も随時改正していく予定である。

**令和4年度決算審査**

**Q 小笠原議員** 町内宿泊施設利活用可能性調査業務の成果について、今後の活用法と町民への情報公開は。

**A** 本調査は十勝ロイヤルホテルを含めた茂岩山周辺エリアの利活用に関するものであるが、成果として示された費用面、コンセプト、運営スタイルの方式については、効果的な部分を取り入れながら検討し、他の公共施設の利活用も含めて検討したい。なお、本調査の成果について、現在一般公開は考えていないが、関係者・有識者には情報提供し各種意見をいただきながら事業を進めていきたい。

**Q 坂回議員** 二酸化炭素排出量調査業務での本町における結果は。

**A** 国の基準年度である2013年度と、直近の公式なデータである2019年度の二酸化炭素排出量を比較すると、排出量がマイナス2,721トンCO<sub>2</sub>となっており、今後対策をしなければ、2030年度で削減率は2013年度からマイナス13.1%、2050年度では2013年度からマイナス23.1%でとどまるという結果が出た。国が掲げるカーボンニュートラルに向けて、今後は計画の策定や対策の協議を進める予定である。

**Q 藤田議員** ジュエリーハウスの利活用状況は。また地域住民への配慮についてはどのように考えているか。

**A** 昨年度の施設利用者については、2万1,972名であり、冬期の開設のほか、夏から秋にかけて(一社)ココロコによる互産互生の物販、町観光協会によるジュエリーアイスライブの計画を進め

ている。地域住民に対しては、地区の区長や地域協議会との意見交換を進め、騒音や駐車場対策など出来る限りの対応を進めてまいりたい。



ジュエリーハウス (外観)

**Q 杉野議員** 長節湖キャンプ場管理施設運営事業補助金は実費による補助か。

**A** 町商工会において、長節湖いんがるしるのカフェを運営するための事業経費を補助するものであり、実績に応じて実費精算により補助をしている。

**Q 穴崎議員** 長節湖キャンプ場のトイレについて観光客から故障等で使えないという声を聞いた。建物やトイレ本体の老朽化もあるが今後の改修等の考えは。

**A** 修繕等が増えている現状もあり、今後関係者からの意見聴取等踏まえて検討していきたい。





# 一般質問



岩井 明 議員

## アルプス処理水の海洋放出による影響等について

Q 8月24日に開始したアルプス処理水の海洋放出に関して、中国の禁輸政策による道内漁業への影響や全漁連が反対している状況を踏まえ、本町における漁業関連等への影響は。

A 按田町長

処理水の海洋放出に伴う中国による禁輸政策により、日本の水産物への風評被害、産地価格の下落などで地域経済への重大な影響が懸念されている。政府はこれらの対策に基金及び予備費を活用し緊急支援策を講じている。

北海道は、道内の漁協を対象としたアルプス（ALPS）処理水の海洋放出に係る影響について調査を行い、十勝管内の3漁協は「現在のところ影響はない」としながらも、今後の動向と地元水産物への風評被害について懸念を示している。

また、道東太平洋沿岸では今期の秋鮭定置網漁が行われており、現在本格的に操業が行われているが、処理水に関しての異常を示す水産物はないと伺っている。

水産業は本町の主要産業であり、その大宗となる秋鮭定置網漁は漁業経営の柱であることから、風評被害が広がれば、近年の漁獲がなかなか上向かない状況に追い打ちをかける状況となる。

本町としては、漁協をはじめとする関連団体からの情報収集に努め、北海道とも連携しながら水産業を守る対応に協調していく。

### 会議の詳細は会議録で

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録しています。  
ご覧になりたい方は、町ホームページを閲覧されるか、議会事務局へお問い合わせください。  
また、議会だよりの感想もお待ちしております。

TEL 015-574-2222  
FAX 015-574-3955  
(議会事務局直通)

## 意見書

- ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書
- 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書
- 肥料、燃油などの生産資材等高騰対策の強化を求める意見書

産業厚生常任委員会にて審議した上記3件の意見書案が、岩井明産業厚生常任委員長から提案説明され、いずれも原案どおり可決し関係省庁・機関に提出されました。



提案説明する岩井明委員長

## 議会日誌

- 〔9月〕
  - 4日 議会運営委員会
  - 7日 第3回定例会（1日目）  
（補正予算、人事案件、その他）
  - 議員全員協議会
  - 総務文教常任委員会
  - 産業厚生常任委員会
  - 第3回定例会（2日目）  
（令和4年度決算認定）
  - 第3回定例会（3日目）  
（一般質問、意見書、その他）
- 〔10月〕
  - 6日 議会広報特別委員会
  - 18日 総務文教常任委員会  
所管事務調査
- ◎今後の予定
  - 〔11月〕
    - 13日 十勝町村議会議長会主催  
議員研修会 ～幕別町
    - 24日 第2回臨時会（予定）
    - 27日 一部事務組合議会定例会  
～帯広市  
～東京都
  - 〔12月〕
    - 29日 全国議長大会
    - 4日 議会運営委員会
    - 7日 第4回定例会（1日目）  
（補正予算、条例改正、その他）
    - 総務文教常任委員会
    - 産業厚生常任委員会
    - 第4回定例会（2日目）  
（一般質問、その他）
- 議会広報特別委員会



北海道町村議会議長会  
議員研修会に参加

7月4日(火)、札幌コンベンションセンター(札幌市)において、北海道町村議会議長会主催議員研修会が開催され、全議員が出席しました。

研修会では、ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長の五百旗頭真氏による「ウクライナ危機後の世界と日本」、政治ジャーナリストの田崎史郎氏による「日本政治の舞台裏」と題した講演が行われました。



研修会講師の  
五百旗頭(いおきべ)真氏(右)  
田崎 史郎氏(左)

福島県相馬市議会  
議会運営委員会 行政視察

8月3日(木)、福島県相馬市議会、議会運営委員会(佐藤 満委員長ほか7名)が行政視察のため豊頃町に来町しました。

議会広報について、その取り組みや特別委員会設置の経緯、今後の課題などを杉野議会広報特別委員長及び事務局から説明し、その後意見交換を行いました。

意見交換終了後は、按田町長へ表敬訪問し、はるにれの木を見学、最後に二宮報徳神社を参拝しました。



相馬市議会 議会運営委員会による  
行政視察のようす

北海道町村議会議長会  
議会広報研修会に参加

8月17日(木)、ホテルポールスター札幌(札幌市)において、北海道町村議会議長会主催議会広報研修会が開催され、議会広報特別委員4名が出席しました。

研修会では、(一社)自治体広報広聴研究所代表理事の金井茂樹氏による「伝わる議会報の編集ポイント」と題した講演が行われました。

講演の後、道内4町の議会広報誌を講評する「広報クリニック」が開催され、講演の内容について触れながら紙面における表現方法や改善点などについて説明がありました。



議会広報研修会のようす  
※写真手前右側が本町広報委員

滑川市議会議員一行・  
相馬市議会議長が来町

9月23日(土)、とよころ産業まつりが開催され、来賓として本町の姉妹都市である滑川市から尾崎照雄議長はじめ滑川市議会議員一行及び櫻井雄一商工企画課長が、相馬市から石橋浩人議長と伊藤充幸産業部長が来町されました。

産業まつり当日は好天に恵まれ、来賓の方々は秋鮭の即売や各種出店のようす、メイニイベントである秋鮭つかみ取りを見学されたのち、按田町長ほか本町理事者や産業団体長、本町議会議員との交流を深められました。



本町関係者と来賓の方々による記念写真



## 産業厚生常任

### 委員会レポート

産業厚生常任委員会（岩井明委員長）は、8月24日、農作物の作況について、豊頃町農業改良推進協議会の作況調査に同行し、現地調査を行いました。

#### 1 調査の経過と結果

町内の農作物の作況について、8月24日に開催された町農業改良推進協議会が主催する作況調査に同行して調査した。

調査当日は、町内の7圃場6作物について1圃場ごとの作物の草丈、着莢数などの生育状況や、病害虫の発生状況、農作業の進捗状況及び今後の注意事項などについて説明を受けた。

本年は、てん菜の移植作業及び豆類のは種作業は平年並みかやや早めに行われたが、降雨の影響により馬鈴薯の植付作業及び直播栽培のてん菜のは種作業は平年より遅れて行われた。

調査時点での作物ごとの生育状況は、てん菜については、葉数は平年より若干少ないが、草丈及び根周は平年より良く生育は順調である。馬鈴薯については、6月上旬から7月中旬まで少雨であった

ため、莖長は平年より短く推移し開花期は平年並みであったが1株当たりのいも数はやや少なく、1個当たりのいも重も小さい傾向であるが、生育は順調である。豆類は発芽後の生育は好天により早く推移し、開花は1週間から10日早くなっており莢数は金時以外平年よりもかなり多く、豆類全般的に平年に比べ生育は大幅に進んでいる状況である。



馬鈴薯圃場の視察

牧草については、一番草の収穫作業は平年並みに始まったが、その後の好天により収穫作業は平年より8日早く終了し、収量は平年並みとなった。二番草については、草丈がやや長い状況で平年並みの生育であり、収穫作業は一番草の収穫が早く終了したことにより若干早く進んでいるが、一番草の収穫時期の差により圃場間でばらつきが大きくなっている。

飼料用とうもろこしについては、は種作業がやや遅れて始まったが、その後の好天により平年並みに作業が終了し、出芽は順調で6月上旬からの好天により生育は非常に早く推移している。



デントコーン圃場の視察

なお、すでに収穫作業の終了した秋まき小麦については、根雪が12月18日と平年よりやや遅かったが、3月は気温が高く融雪も早まり起生期は早く、その後の生育は順調で、5月下旬からの平均気温が平年より高く推移したことで、生育は非常に早まった。成熟期は平年より6日早く収穫も平年より9日早く終了し、収量は乾麦で反収が概ね11・9俵と昨年を大きく上回る結果が見込まれている。

調査時点での状況は以上のとおりであるが、今後においては、台風及び病害虫による作物への影響、また、霜の降りる時期によっては豆類の収穫に悪影響を及ぼすことも考えられる。

本町は中長期的な明・暗渠排水などの農地基盤整備により安定的な農作物の収量確保に向けた対策が講じられていることから、今後においても引き続き計画的な農地基盤整備事業を実施していくことが必要であることや、本格的な収穫期を迎えるに当たり農作業事故の注意を喚起するよう関係機関等を通して指導の徹底を求めるなどの意見が出された。



作物の生育状況について  
担当職員から説明を受ける